

回復基調継続も、 引き続き浮揚感に乏しい



神奈川県内景気

- 財の輸出には弱さが残っているものの、下げ止まり感がみられる。インバウンド消費は引き続き拡大基調で推移。
- 5月の生産指数は、生産用機械が下振れたものの、基調としては4月比でやや改善した。
- 5月の実質賃金（家計の購買力）はなお低下。ただ、内訳を詳しくみると、今春の春闘における賃上げ効果が徐々に反映され始めている状況がうかがえる。
- 個人消費は、財が横ばい、サービスも緩慢な伸びにとどまった模様で、全体的に大きな変化がみられなかった。

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取り扱いいただきますようお願いいたします。



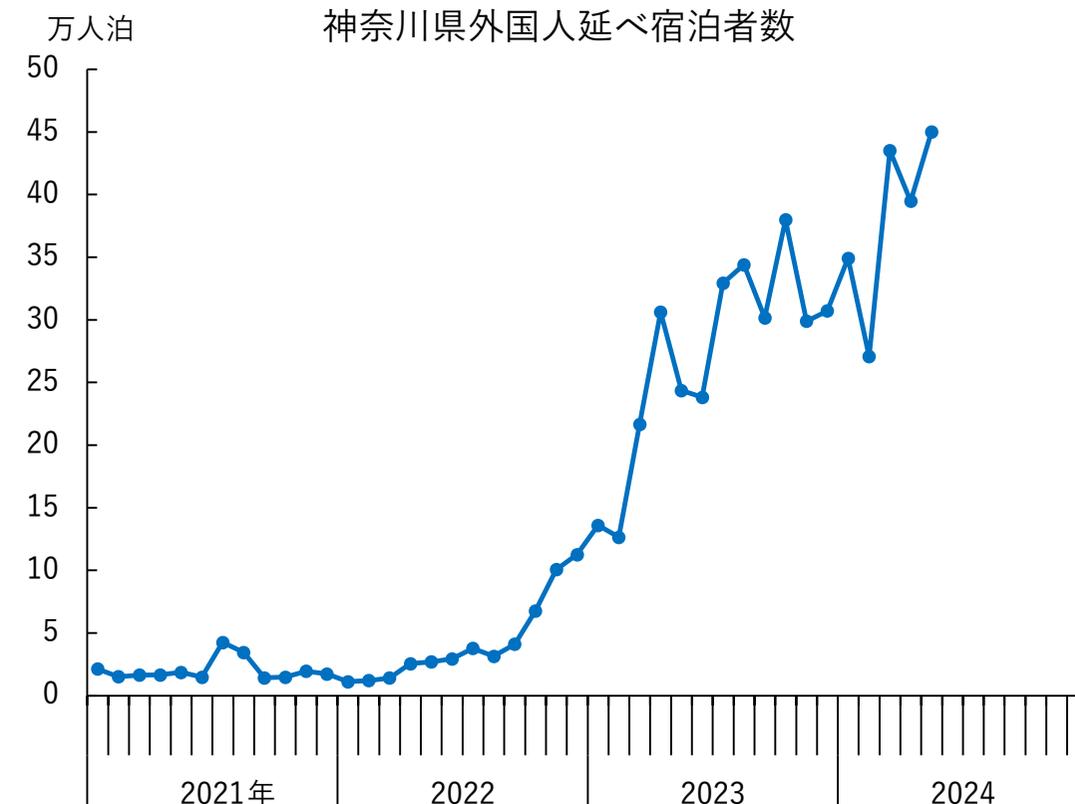
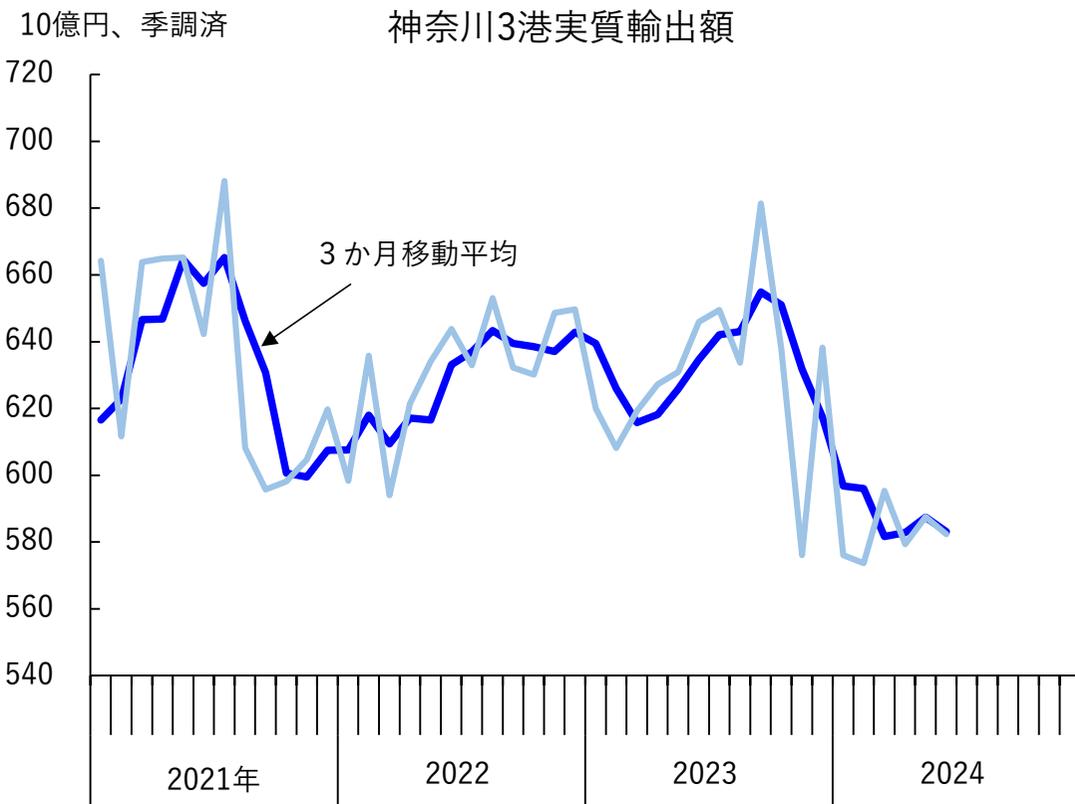
横浜銀行グループ

浜銀総合研究所



- 財の輸出にはなお弱さが残っているものの、下げ止まり感がみられている。神奈川3港（横浜港、川崎港、横須賀港）の実質（≒数量ベース）輸出をみると、6月は前月比やや減少した。財別では、一般機械が弱含む一方で、輸送用機器には底打ちの兆しが現れている。
- 神奈川県外国人延べ宿泊者数は拡大基調を維持。外国人延べ宿泊者数は5月もコロナ禍前の2019年同月の水準を大幅に上回る高い水準での推移が継続した（※）。

※2024年5月の値は推計誤差が大きくなっていることに注意が必要である。



注:季節調整は当社で施した。

出所:財務省「貿易統計」、日本銀行「企業物価指数」より浜銀総研作成

注:2024年1、2、5月の値は誤差が大きいに注意が必要。

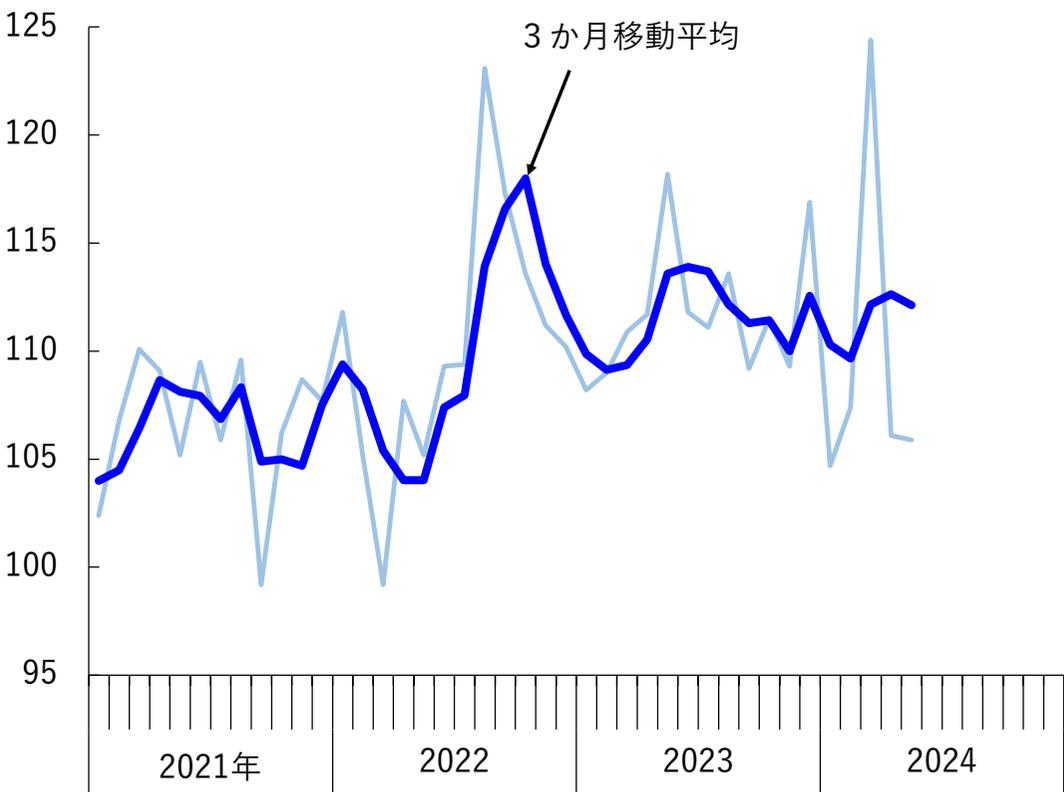
出所:観光庁「宿泊旅行統計」



- 県内製造業の生産活動は、5月単月で見れば、4月に比べて基調としてはやや改善したと考えられる。
- 5月の工業生産指数は前月比-0.2%と低下した。ただ、主要業種別にみると、単月の振れが激しい生産用機械が同-40.3%（同寄与度-5.73%ポイント）となっており、指数全体を押し下げている。
- 輸送機械（前月比+7.4%）や化学（同+7.9%）、食料品・飲料（同+4.7%）といった他の主要業種は、5月に明確に増産となった。

製造工業生産指数（神奈川県）

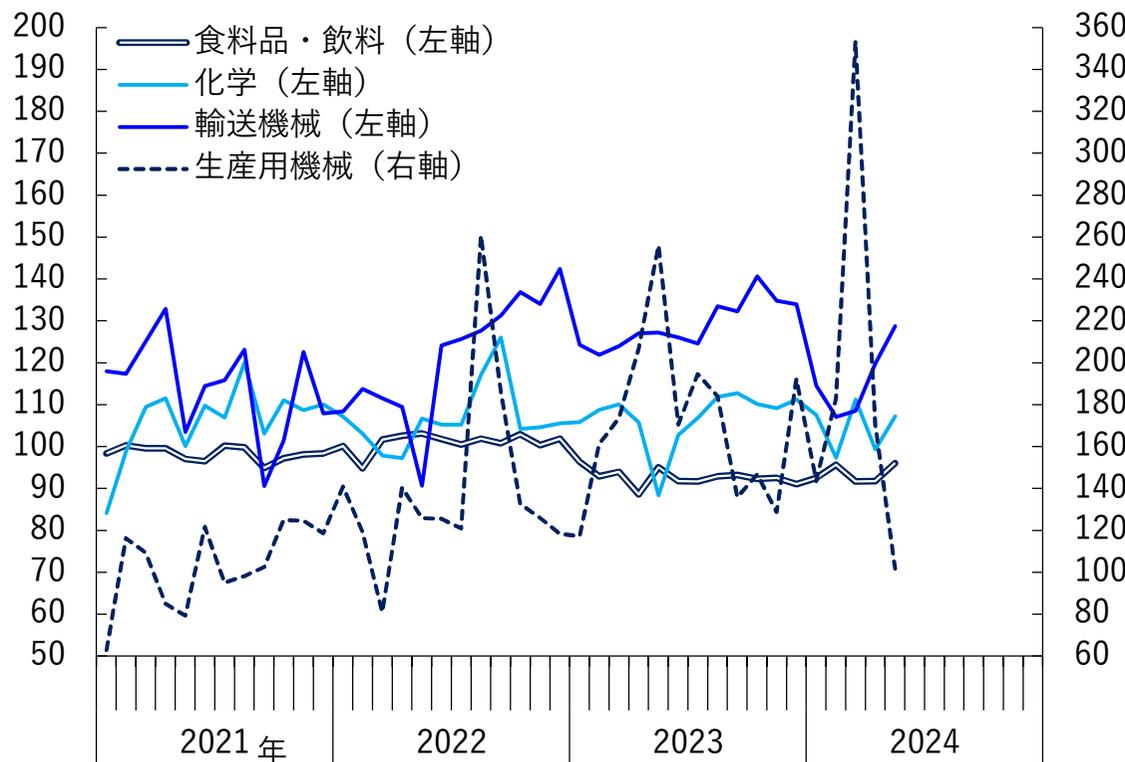
2020年=100、季調済



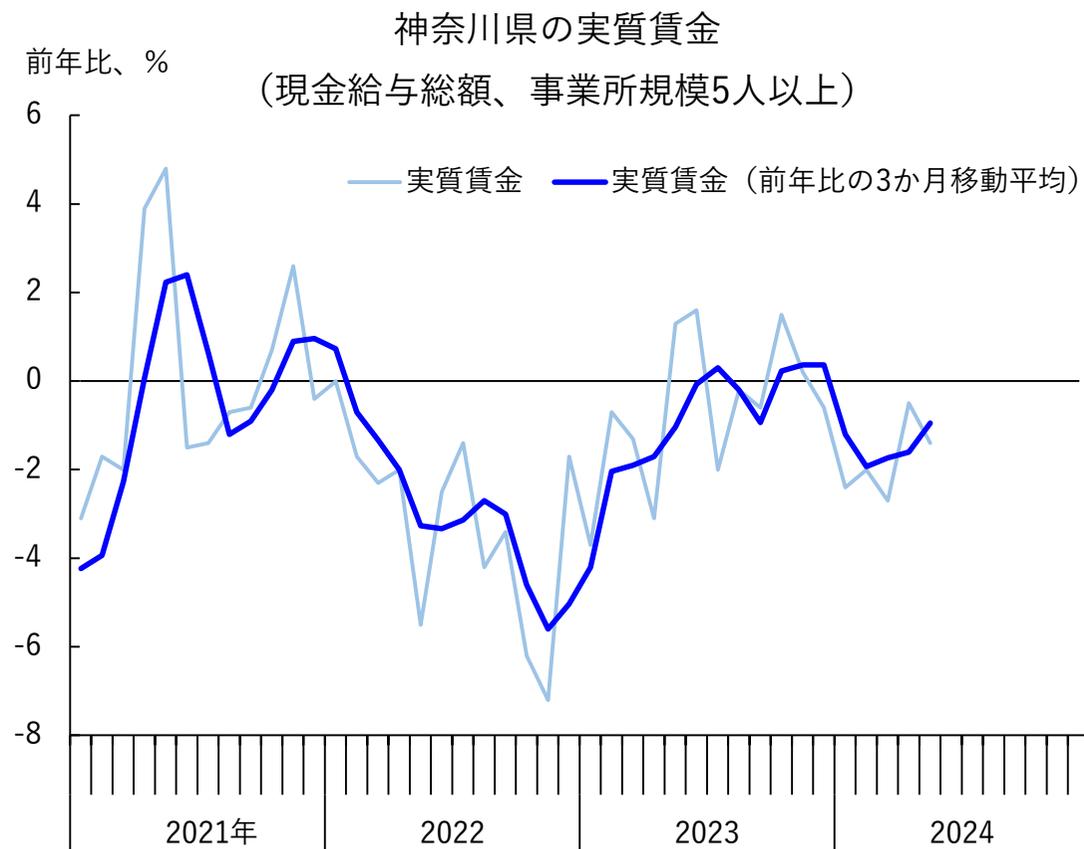
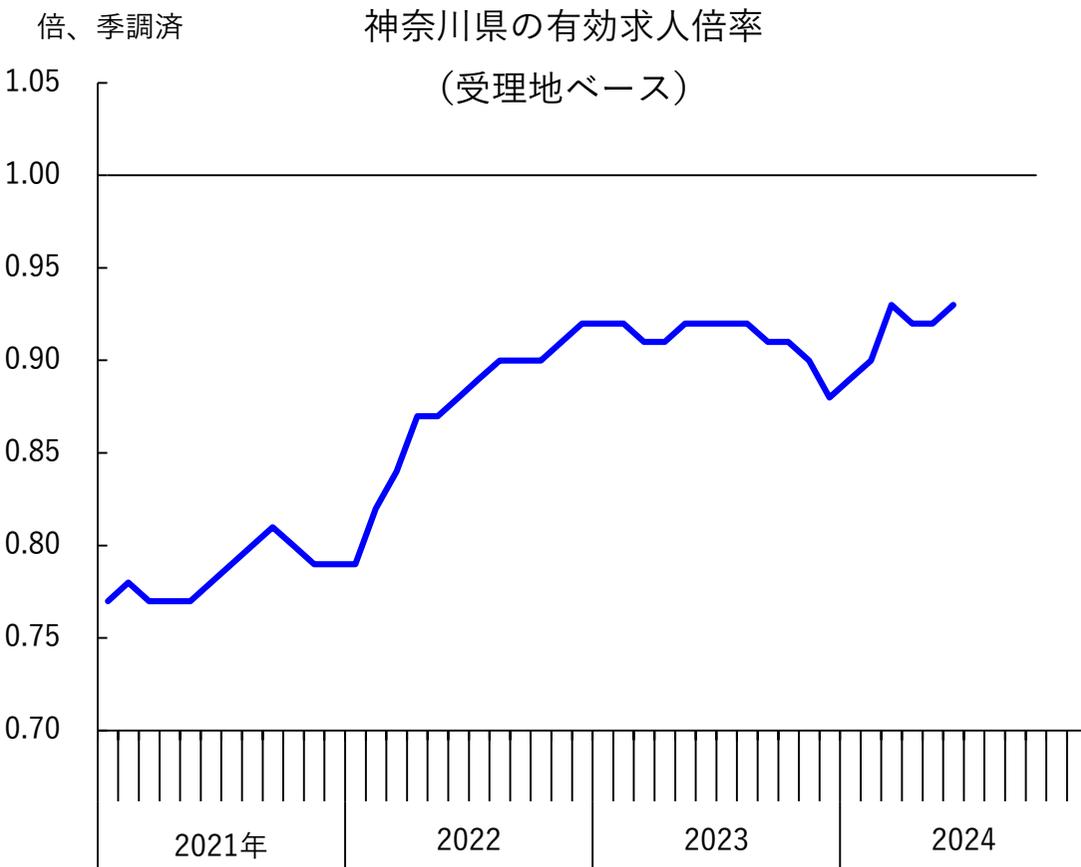
主要4業種の生産指数（神奈川県）

2020年=100、季調済

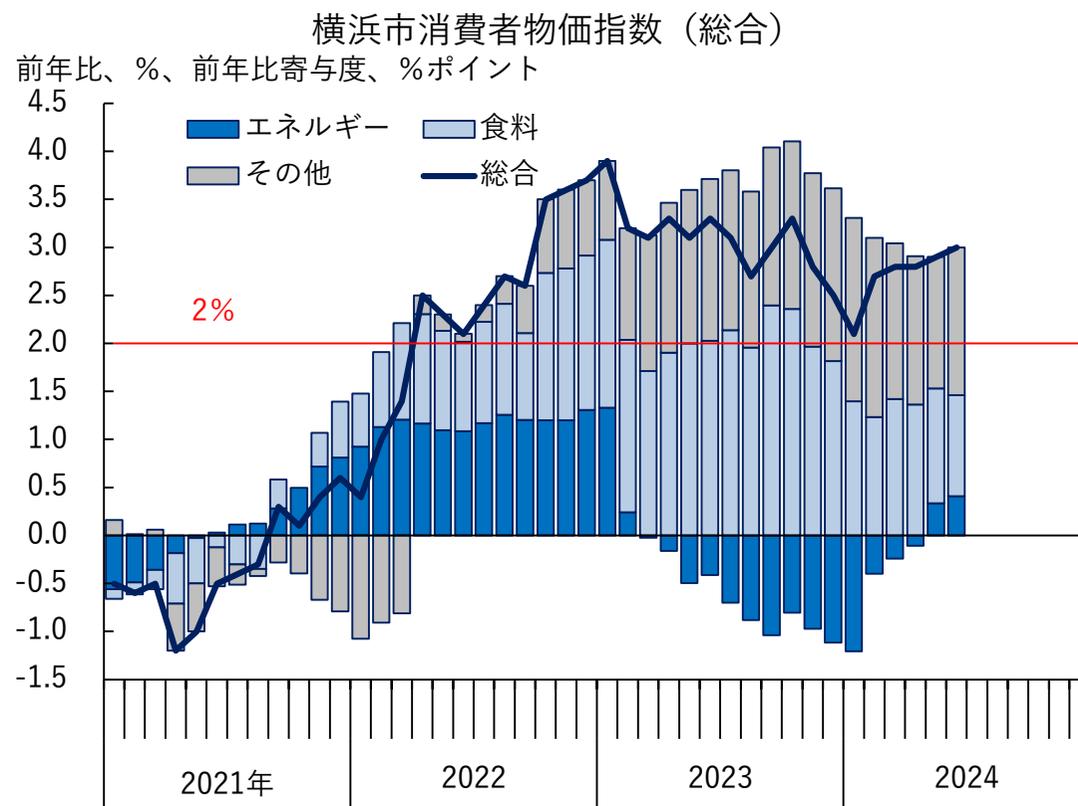
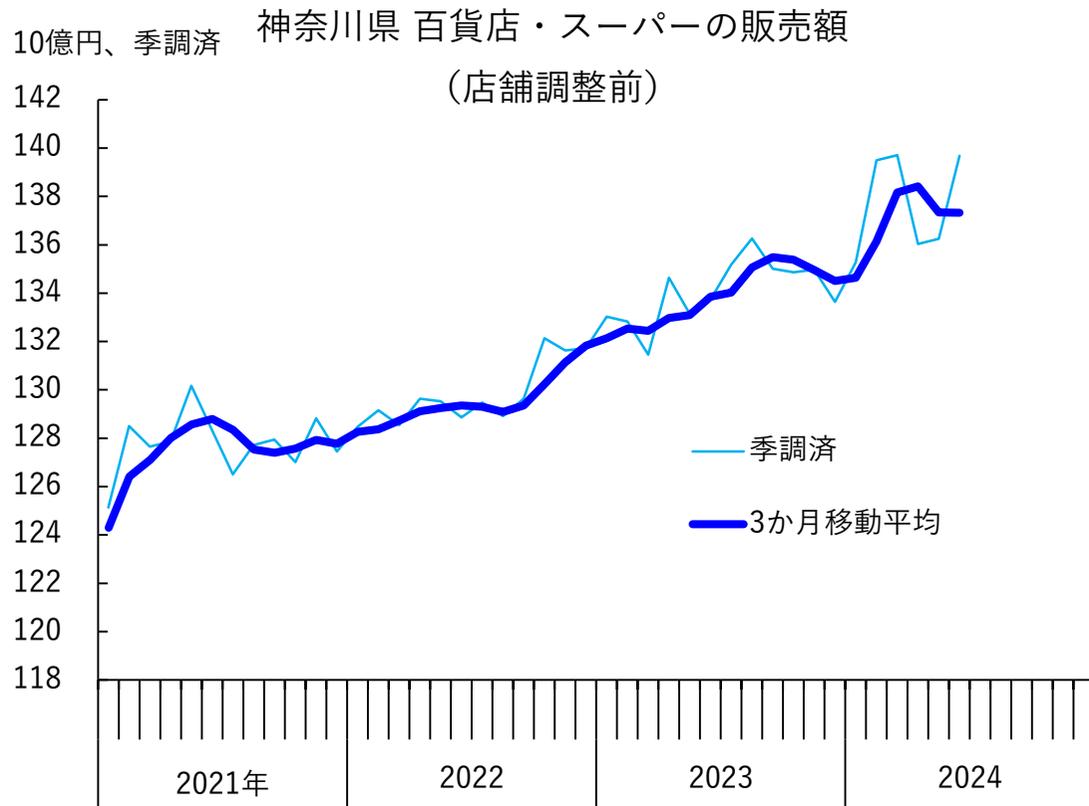
2020年=100、季調済



- 6月も雇用情勢は横ばい圏内で推移。6月の神奈川県の有効求人倍率（受理地ベース）は0.93倍と、前月比0.01ポイント上昇した。このところ、有効求人数はわずかではあるが、再び上向きつつあり、雇用情勢は悪い状況にはないとみる。ただし、有効求職者数が高止まりしていることは気がりである。
- 家計の購買力を示す5月の神奈川県の実質賃金は前年比-1.4%と依然として前年を下回っている。もっとも、名目の賃金上昇率を詳しくみると、事業所規模5人以上の所定内給与（基本給に相当）が同+1.5%となっており、さらに事業所規模30人以上に限った場合には同+3.7%と高い伸びを示している。春闘の賃上げの効果は徐々に織り込まれていると考えられ、物価上昇率の縮小が待たれる。



- 6月の財の消費は基調としては横ばいの動き。6月の百貨店・スーパーの販売額は前月比+2.5%となった。前年比も+4.4%となっているため、数量ベースでも持ち直しの兆しが現れたように見える。ただ、県内の統計は振れが激しいことや、3か月移動平均が前月比でなお横ばいとなっていることを踏まえると、回復に転じたとの評価を下すには早いと考える。
- サービス消費は緩やかな伸びにとどまった模様である。6月の内閣府の「景気ウォッチャー調査（南関東）」では、良好な業況を示す飲食店のコメントが複数見られた一方、景気判断を「不変」としているホテルや旅行代理店も多かった。
- 6月の横浜市の消費者物価指数（総合、前年比）は前年比+3.0%と、前月並みの伸びに。食料の伸び率が縮小する一方、エネルギーの前年比プラスが続いた。



注：季節調整は当社で施した。

出所：経済産業省「商業動態統計」より浜銀総研作成

注：その他は総合からエネルギー、食料を差し引いた残差。

出所：総務省「消費者物価指数」より浜銀総研作成



浜銀総合研究所



2024年8月6日
調査部 副主任研究員
白須光樹